

温暖化防止 企業に学ぶ

こどもエコクラブ 工場見学と閉講式

を通じて自然や環境問題を考

岡谷

岡谷市内の小学生が体験する「岡谷こどもエコクラブ」(市主催)は14日、今年度の最終講座を岡市長地小秋の



排水処理の仕組みを学ぶ参加者

京セラ長野岡谷工場で開いた。市内の小学生21人と保護者が見学を通して、地球温暖化防止に向けた企業の取り組みについて学習。閉講式も行い、1年間の環境保全活動を行ったとして認定証をそれぞれ受け取った。

講座では、二酸化炭素の増加によって地球温暖化が進み、海面上昇や異常気象が起きていることを学習。参加者は工場を見て回り、同社で実践している太陽光発電、排水処理、リサイクルなど、環境活動への理解を深めた。

式では、市職員が一人ひとりに「アースレンジャー認定証」を手渡した。活動の継続をたたえ、6年連続の参加者2人に金バッジ、3年連続の4人に銀バッジを贈った。

銀バッジを受けた小井川小学校3年の加藤陽規さん(9)は「自然を守るための活動について知ることができた。自分もごみの分別をしてきれいな地球を目指したい」と話していた。